

「山都町特産品」プロジェクト

矢部高等学校緑科学科

1 はじめに

本校校長が、近隣の介護施設等から「パズルのようなものをつくってもらえないか」という相談を受け、授業で製作していた「木製の六角形プランター」(写真1)を提供したところ、好評で大変感謝されました。また、「かどっこのくまモン」(写真2)を製作し、くまモンスクエアで限定販売させていただいたところ、ヒット商品となり、毎月、20個の納品依頼がっており、授業で製作している木工品の魅力を再確認することができました。

上益城郡山都町は、通潤橋などの観光地や、農産物などが有名ですが、町を象徴するようなお土産をもっと増やすために、3年生の課題研究の一環として、演習林から得られるスギの間伐材を使用した「山都町の新特産品プロジェクト」を立ち上げました。



(写真1)



(写真2)



(写真3)

2 作品

「少材料で、少経費、少時間、高安全に加工し、なるべく多く生産できる木工品」を念頭に、山都町をイメージできるものにしました。

(1)「通潤橋」をモチーフにした通潤橋模型「かけはし」

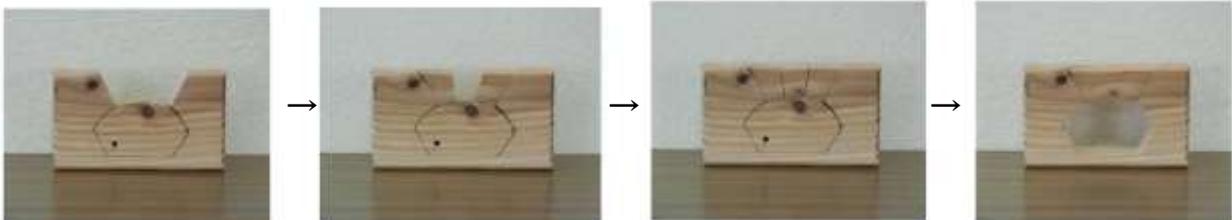
通潤橋模型「かけはし」は、地橋(支保工)、輪石、要石を実際に組み合わせることで構造を学ぶことができます(写真4)。昨年度は新聞でも紹介され、小学校・盲学校などに合計で200個以上販売することができ、今は道の駅「通潤橋」の物産館でも販売しています。

①地橋を入れる

②両側に輪石を置く

③中央に要石を置く

④地橋を抜く



(写真4)

(2)「清和文楽」をモチーフにした清和文楽パズル

清和文楽邑のロゴ(写真5)を使用した木製の「清和文楽パズル」(写真6)は、「男性」、「女性」、「清和文楽」、「矢部高緑科学科」の4面に化身するパズルです。小川工業高校の生徒さんに作っていただいた焼き印(写真7)で大量生産が可能です。現在、道の駅「清和文楽邑」の物産館で販売中です。焼き印を使うことでスギの香りが強くなり好評で、清和文楽はギリシアでも公演されているため、今後は海外へのお土産にも最適と考えています。



(写真5)



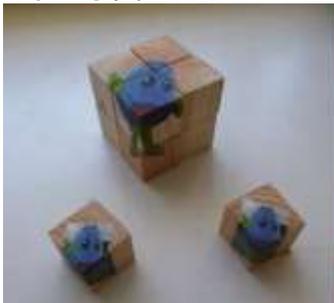
(写真6)



(写真7)

(3) ブルーベリーの「ベリーちゃん」をモチーフにしたベリーちゃん積み木

しっぽに触れると幸運をもたらすベリーちゃん(写真3)は、元々旧蘇陽町のゆるキャラで、現在は山都町で各種イベントに登場しています。蘇陽中学校の生徒のアイデアをもとに「かどっこのくまモン」を進化させた「ベリーちゃん積み木」(写真8)を開発しました。1個1個のベリーちゃんを8個に合体させると大きなベリーちゃんが登場します。協力していただいた中学生に感謝状と「ベリーちゃん積み木」を贈呈しに、蘇陽中学校を訪問しました(写真9)。現在、道の駅「そよ風パーク」の物産館で販売中です。八朔祭の大造り物ではベリーちゃんを製作し、ベリーちゃんのPRとブルーベリーなどの農産物の豊作を祈願しました。(写真10)



(写真8)



(写真9)



(写真10)

3 まとめ

近隣の介護施設の依頼から裾野が広がり、このような研究活動につながりました。これからは地域からのニーズに応え、地域のためになる取組を実践していきたいと思います。私たちが製作した木製の特産品を過疎化の進む山都町の活性化につなげ、多くの観光客を山都町に呼び込むために私たちに出来るPR活動を、更に追求していきたいと思います。

また、今回の活動を通して資源の有効利用という観点から、演習林の間伐材から出る廃材を有効に利用することができました。さらに、商品開発や販売活動を通して、今までになかった他校や地域の方々との共同開発や交流ができました。

これからも本校のテーマである「心通わせ郷土を潤す架け橋に～矢部高校～」をモットーに研究活動を続けていきます。

